

## 沖縄県児童養護施設の子どもたちへスマホを寄付

沖縄セルラーは、県内の児童養護施設や里親家庭で暮らす子どもたちの進学や生活を応援するため、沖縄県児童養護協会を通じて iPhone 45 台を県内 10 の施設に寄付しました。

寄付した iPhone は、iPhone 14 (128GB) で、機能性には問題ないものの、本体に僅かな傷がつき、お客様への販売が難しい端末であり、Wi-Fi 環境下であれば利用可能です。(通信回線契約中の SIM カードがあれば通信利用も可能)。これまで軽微な傷がある端末は社員の業務用スマホとして活用するなどしてきましたが、社内の「より端末を有効活用できないか」という声を受け、医療や福祉、教育などの現場で必要とされている方々に役立てて頂きたいという思いから、今回の寄付に至りました。

本寄付には、スマホ端末代を自ら支払っている子どもたちの負担を軽くし、夢や目標に向かって安心して一歩を踏み出してほしいという願いが込められています。

9月17日に児童養護施設 愛隣園(与那原町)で行われたスマホ寄付贈呈式で、沖縄セルラーの國吉博樹 常務は「スマホの端末代をアルバイトなどで自ら工面していると伺っています。今回の寄付によって、その分の費用を自分の夢や学びに活用していただければ嬉しく思います。」と挨拶しました。

受け取った沖縄県児童養護協会の上江洲肇 会長は「友達や学校側とコミュニケーションをとるうえで欠かせないスマホを寄付して頂き感謝しています。この機会に SNS の適切な使い方や情報リテラシーについても理解を深めていきたい。」と述べられました。



県児童養護協会と沖縄セルラーの集合写真



セルラー職員から嬉しそうにスマホの操作を学ぶ子どもたち

スマホを手にした男子生徒は「これまでスマホがないことで、友人との予定変更の際に自分だけ連絡が届かず困った経験があったので、めっちゃ嬉しいです。将来は SNS を活用できるパーソナルトレーナーになりたいです。」と喜びを表現しました。また女子生徒は「受験勉強で分からない英単語を調べたり、たくさん写真を撮って SNS で共有したいです。」と目を輝かせていました。

寄贈されたスマホは沖縄県児童養護協会を通して、高校進学を控える中学 3 年生 45 人に贈られます。

## ■ 寄付先

No.	施設・団体名
1	児童養護施設なごみ
2	美さと児童園
3	石嶺児童園
4	青雲寮
5	愛隣園
6	島添の丘
7	漲水学園（宮古）
8	児童養護施設ならさ（石垣）
9	ノアーズ・ガーデン
10	沖縄県里親会

## ■ 補足情報

- \* 沖縄県児童養護協議会にスマホを寄付するのは、初めての試みです。
- \* これまで販売が難しいスマホ端末につきましては、社員の業務用携帯として活用するほか、リフレッシュ（整備）を行ったうえで「Certified（認定中古品）」として au ショップにて販売しておりました。
- \* これからも継続的に子どもたちの成長や教育支援に取り組んでまいります。